

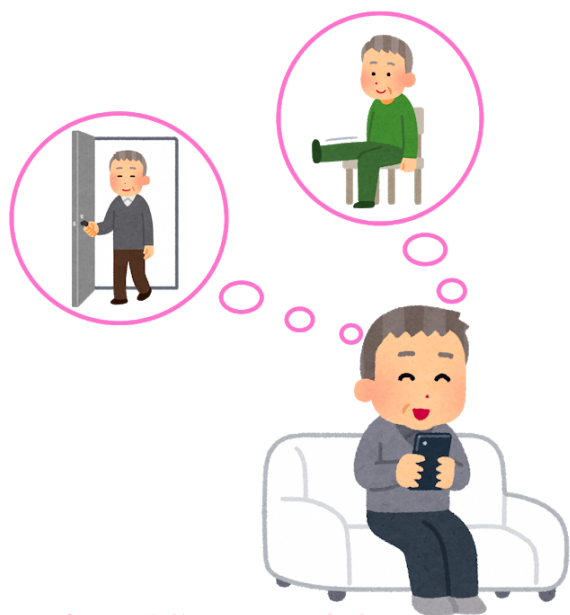
報道関係者各位

2021年2月17日
エーテンラボ株式会社

関東経済産業局 自治体×ベンチャー企業の共創プロジェクトを創出「ガバメントピッチ」発 習慣化アプリ「みんなチャレ」西東京市のフレイル予防事業に参画 オンラインでコロナ下での人との関わり合いを支援

習慣化アプリ「みんなチャレ」の開発、運営を手がけるエーテンラボ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役CEO：長坂 剛）は、関東経済産業局が開催した「ガバメントピッチ」にて西東京市の実証パートナーとして採択され、※フレイル予防事業に参画することをご報告いたします。

※フレイル：元気な状態と介護が必要な状態の中間の状態を言い、年を重ねて心身の活力が低下した状態



- ・毎日の歩数をチームに報告
- ・報告があるので外出が増える！
- ・会わなくても仲間とやりとりできて楽しい♪

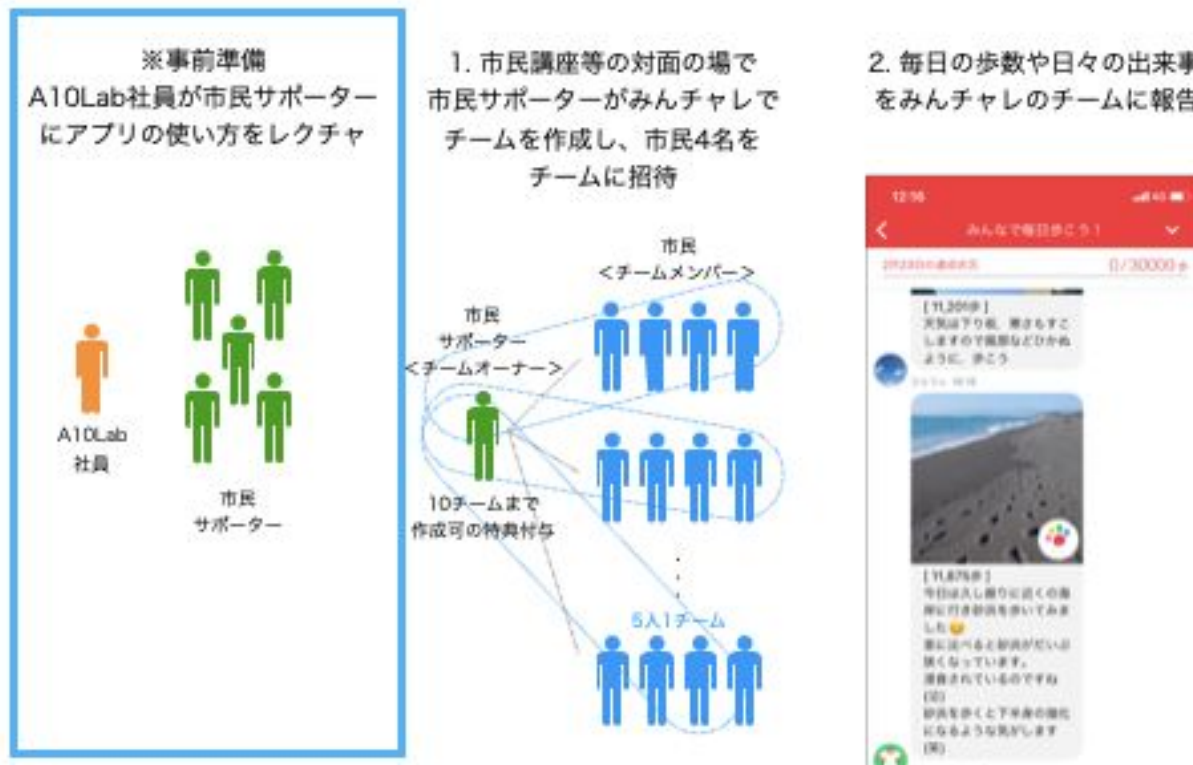


みんなチャレは、ダイエットや運動など、健康のために自分で続けたい目標を、1人ではなく、5人のチームで励まし合いながら生活習慣の改善を続けるアプリです。コロナ下でも身体的な接触なく、同じ悩みを持つ仲間とコミュニケーションをとることができるので、不安や孤独が解消され、健康維持活動が楽しく行えます。

西東京市は、かねてよりフレイル予防事業を行っています。最近ではコロナの影響により、運動の機会、人と話す機会が少なくなり、フレイル状態の悪化が懸念されています。みんなチャレが予防事業に参画することで、散歩、自宅での運動、食事改善など自身のがんばりを仲間と共有できるコミュニケーションの場を提供し、高齢者の心身の健康をサポートします。

■西東京市「みんチャレ」事業概要

みんチャレを活用した、市民の運動およびコミュニケーション活性化の施策



1. 目的

- ・フレイル予防・コミュニケーションの活性化のため、習慣化アプリ「みんチャレ」を活用して市民の行動変容を促せるかを検証する。
- ・実証の中で、1) アプリ利用開始までの課題、2) 高齢者の利用上の課題を明らかにし、今後の改善に生かす。

2. 対象

- ・西東京市民。スマートフォン保有者で「LINE」が使える方を想定。

3. 実施概要

- ・市民サポーター1名と市民4名で5人1組のチームを組み、健康意識の継続を目指す。
- ・市民サポーターを伝道師として地域への「みんチャレ」の普及を目指す。

4. 時期

- ・2021年4月より実証スタート予定

■西東京市のフレイル予防事業の背景

～高齢者の増加～

西東京市は、国立社会保障・人口問題研究所の調査によると、65歳以上人口は今後一貫して増加し、特に85歳以上高齢者は増加率が高く、2045年には、2015年時点と比較して85歳以上の移住割合は 2.26倍に増加すると推計されています。

高齢者の増加と居住継続意向が高い



▶65歳以上人口は今後一貫して増加し、特に**85歳以上高齢者は増加率が高い**

▶**市民の居住継続意向が高く、「住み続けたい」と回答した割合が、60歳代で79.2%、70歳以上で80.8%**

※西東京市市民意識調査報告書（平成29年11月）より



～コロナ下で運動の機会、人と話す機会が減少～

2020年2月と4月を比較すると、外出頻度が低下しており、健康長寿の三つの柱である、趣味・ボランティア・就労などの社会参加や、運動の機会が少なくなることが懸念されます。

～コロナ下でのフレイル予防～

2020年10月27日、関東経済産業局が開催した「ガバメントピッチ」※にて内容を発表し、コロナ下でも「外に出たくなる」もしくは、「家でも参加できる」が実現できるソリューションを提供できるベンチャー企業として「みんなチャレ」を採用しました。

※ガバメントピッチ

関東経済産業局が「自治体×ヘルスケア関連ベンチャー等共創プログラム」の一環として開催。ベンチャーベンチャー企業に向けて、ヘルステック等を活用した官民共創に意欲的な自治体が、共に取り組みたいヘルスケア分野の地域課題・ニーズについてプレゼンテーションを実施

https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/iryokiki/20201027government_pitch.html

コロナ下でのフレイル予防



- ▶フレイル予防に重要とされている栄養、運動、社会参加のうち、アンケートから特に低下していた**運動**と**社会参加**について重視したい
- ▶コロナ下でも「**外に出たくなる**」もしくは「**家でもできる**」を実現したい



出典：西東京市のガバメントピッチ資料「新型コロナ下における高齢者のフレイル予防」

参考：西東京市Web https://www.city.nishitokyo.lg.jp/kenko_hukusi/koreisyasien/frailtyobo/index.html

■西東京市 健康福祉部 高齢者支援課 在宅療養推進係 主任 徳丸 剛 様

西東京市は、高齢者が多く住む市であり、全ての政策に健康を掲げております。その中で、フレイル予防については、東大式フレイルチェックを導入するなどその課題に取り組んでまいりました。しかしながら最近ではコロナの影響で、集まって講座を開く活動を自粛せざるを得なくなりました。今回、ガバメントピッチでの発表がきっかけでみんなチャレの仕組みを知ることができたのですが、今の時代にマッチしていますし、触ってみるとLINEアプリと似て、とても簡単にできるものでした。これなら高齢の方でも楽しんでいただけるだろうと考え、西東京市のフレイル予防事業をお手伝いいただくこととなりました。高齢者の方からみんなチャレを使った感想を聞くことをとても楽しみにしています。

■関東経済産業局 地域経済部 次世代産業課 係長 松本 大介 様

関東経済産業局では、地域のヘルスケアを担う自治体と、デジタル技術等を有するベンチャーとの共創促進を通じて、地域課題解決とヘルスケア産業振興を両立すべく取り組んでいます。「ガバメントピッチ」がきっかけで、またひとつ産官連携を進めることができました。本事業が、西東京市の皆様の健康的な毎日に繋がることを祈念しております。

■今後の取り組み

弊社では、習慣化アプリ「みんなチャレ」でヘルスケア分野でのサポートを強化しており、産官連携を進めることにより社会実装を目指しています。これまでに、*神奈川県との連携により、糖尿病とその予備軍の方に対してフィジビリティスタディを行い、成果を出すことができました。今回、西東京市と提携し、高齢者の方のフレイル予防の成果をだすことで社会貢献し、その実績をもって**5年以内に15の都道府県との連携を目指します。**

※チーム制アプリ「みんなチャレ」が行動変容に寄与することを証明 2型糖尿病・予備軍同士が励まし合えば目標歩数達成率は2倍に！
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000041_000024217.html

■習慣化アプリ「みんなチャレ」について 5人1組チームの励まし合いコミュニティ

ダイエットや運動、学習など、新しい習慣を身につけたい5人1組でチームとなり、チャットで励まし合いながらチャレンジする、三日坊主防止アプリです。

<特徴>

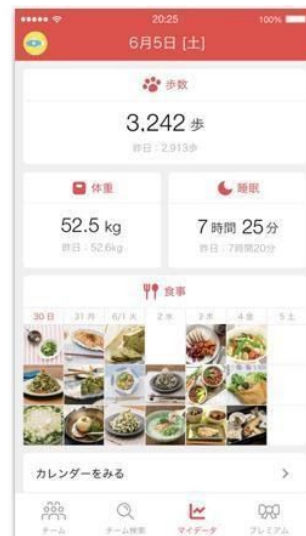
- ・ 習慣化成功率は一人で行う時の8倍
- ・ 2020年 経済産業省主催「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト」で優秀賞・企業賞を受賞
- ・ 2016・2017・2019年 Google Playベストアプリに選出



同じ目標を持つ
5人組のチームに参加！



チャットでチャレンジの
証拠写真をチームに共有、
励ましあって習慣化！



続けるとマイデータ
がたまる！

タイトル	みんチャレ	
利用料	無料ユーザー：無料 プレミアムユーザー：1ヶ月プラン 500円/月	
配信日	2015年11月6日	
公式サイト	https://minchalle.com/	
ダウンロードURL	【iOS】 https://itunes.apple.com/jp/app/id1047462806 【Android】 https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.sony.minchalle&hl=ja	
公式SNS	【Twitter】 https://twitter.com/minchalle 【Instagram】 https://www.instagram.com/minchalle.official/ 【facebook】 https://ja-jp.facebook.com/minchalle/	

【会社概要】

社名：エーテンラボ株式会社
 住所：東京都渋谷区恵比寿1-8-5 東洋ビル 3階
 代表者：代表取締役CEO 長坂 剛
 設立：2016年12月21日
 資本金：4,800万円
 URL：<https://a10lab.com>

【お問い合わせ先】

エーテンラボ株式会社
広報/事業開発 担当 加藤
TEL : 03-5422-8396
e-mail : maho.kato@a10lab.com

